



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月1日

上場会社名 扶桑化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4368 URL <http://www.fusokk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤澤 良太
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 榎本 修三 TEL 03-3639-6311
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	8,796	△1.5	2,441	41.1	2,365	32.4	1,566	44.5
28年3月期第1四半期	8,925	19.0	1,730	30.7	1,786	34.5	1,083	36.3

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 692百万円 (△44.0%) 28年3月期第1四半期 1,237百万円 (79.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	44.11	—
28年3月期第1四半期	34.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	47,426	39,775	83.9	1,120.15
28年3月期	48,158	39,970	83.0	1,125.64

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 39,769百万円 28年3月期 39,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	25.00	35.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,100	△2.7	4,100	15.0	4,050	10.7	2,750	12.4	77.45
通期	34,800	△1.4	7,400	1.7	7,400	1.4	5,000	6.0	140.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期1Q	35,511,000株	28年3月期	35,511,000株
29年3月期1Q	7,002株	28年3月期	7,002株
29年3月期1Q	35,503,998株	28年3月期1Q	31,504,045株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済施策や日本銀行による金融緩和策の効果により、企業収益や雇用情勢に改善傾向が続き、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、消費税増税の再延期決定に対する不安感、中国をはじめとする新興国の成長鈍化や不安定な欧州・中東情勢に加え、英国の国民投票におけるEU離脱選択等に伴う世界経済の下振れが懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは最適な経営資源の投下、在庫・生産体制の抜本的見直しによる経営体制の更なる強化、原料の安定的な確保およびコスト競争力の強化を進めるとともに、“FUSOブランド”のグローバル市場での確立を進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は87億96百万円（前年同期比1.5%減、1億29百万円減）となりました。営業利益は24億41百万円（同41.1%増、7億10百万円増）、経常利益は23億65百万円（同32.4%増、5億78百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、15億66百万円（同44.5%増、4億82百万円増）となりました。

売上高は、円高により海外子会社の円換算売上高および国内会社の輸出売上高の円換算に影響を及ぼしたため、前年同期を下回りました。営業利益は、円高による仕入価格の低減、コスト削減に加え、電子材料および機能性化学品事業の京都事業所において、当連結会計年度の夏期および冬期に予定している、大規模設備投資の工事による生産停止に備えて、当第1四半期連結累計期間で前倒し生産を実施しています。その結果、製品の原価が低減し、営業利益は前年同期を上回りました。

当社グループの報告セグメントの業績は、次のとおりです。

(ライフサイエンス事業)

ライフサイエンス事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が53億68百万円（前年同期比5.8%減、3億27百万円減）、営業利益は9億86百万円（同56.1%増、3億54百万円増）となりました。

リンゴ酸・フマル酸等果実酸類の販売は好調に推移しましたが、円高により海外子会社の円換算売上高の減少があり、売上高は前年同期を下回りました。営業利益は、石油化学製品価格の下落、ならびに円高効果により、果実酸の原材料価格および商品輸入価格が下落したほか、コスト削減が利益率の向上に貢献したことにより、前年同期を上回りました。

(電子材料および機能性化学品事業)

電子材料および機能性化学品事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が34億28百万円（前年同期比6.1%増、1億97百万円増）、営業利益は17億19百万円（同29.1%増、3億87百万円増）となりました。

円高の影響を受けたものの、半導体市場が引続き堅調に推移しており、半導体プロセスの微細化の進展に伴った当社製品「超高純度コロイダルシリカ」への需要も旺盛であり、さらにナノパウダー等の半導体研磨分野以外向け製品の販売も堅調に推移したため、売上高は前年同期を上回りました。営業利益は前述の通り、前倒し生産により原価が低減し、前年同期を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億32百万円減少し、474億26百万円となりました。これは主に、棚卸資産および有形固定資産の減少によるものです。

負債については、前連結会計年度末に比べ5億36百万円減少し、76億51百万円となりました。これは主に、未払法人税等および賞与引当金が減少したためです。

純資産については、前連結会計年度末に比べ1億95百万円減少し、397億75百万円となりました。これは主に、円高による為替換算調整勘定の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月6日の決算短信で公表しました平成29年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想を次表の通り修正します。

平成29年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想の修正（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	17,100	3,600	3,600	2,350	66.18
今回修正予想 (B)	17,100	4,100	4,050	2,750	77.45
増減額 (B-A)	—	500	450	400	—
増減率 (%)	—	13.9	12.5	17.0	—
(ご参考) 前第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	17,577	3,564	3,660	2,446	77.64

修正の理由

平成29年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績動向に加えて、円高により原材料価格および商品輸入価格が当初の想定よりも低下したため、利益で前回発表予想を上回る見込みとなりましたので、上記のとおり修正いたします。

なお、通期の連結業績予想につきましては、現時点では変更していません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,709,108	17,892,773
受取手形及び売掛金	9,424,352	9,485,807
商品及び製品	5,039,621	4,812,928
仕掛品	173,437	163,939
原材料及び貯蔵品	821,000	741,625
繰延税金資産	439,808	429,716
その他	621,272	546,476
貸倒引当金	△6,825	△6,303
流動資産合計	34,221,777	34,066,964
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,934,434	5,710,305
機械装置及び運搬具(純額)	2,668,201	2,433,318
土地	3,067,304	3,058,105
建設仮勘定	2,975	16,988
その他(純額)	411,299	366,342
有形固定資産合計	12,084,215	11,585,061
無形固定資産	292,926	262,140
投資その他の資産		
投資有価証券	710,757	662,147
長期前払費用	20,272	16,708
繰延税金資産	608,017	622,877
退職給付に係る資産	52,482	47,291
その他	310,250	293,423
貸倒引当金	△141,765	△129,865
投資その他の資産合計	1,560,014	1,512,582
固定資産合計	13,937,155	13,359,783
資産合計	48,158,933	47,426,748

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,060,456	1,931,332
未払金	921,741	1,378,455
未払法人税等	1,380,461	802,005
賞与引当金	441,595	244,071
役員賞与引当金	165,000	23,200
その他	811,408	879,705
流動負債合計	5,780,663	5,258,769
固定負債		
繰延税金負債	377,149	349,165
退職給付に係る負債	1,554,286	1,568,949
資産除去債務	8,526	8,526
その他	467,899	466,237
固定負債合計	2,407,861	2,392,878
負債合計	8,188,525	7,651,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,334,047	4,334,047
資本剰余金	4,820,722	4,820,722
利益剰余金	29,043,520	29,722,259
自己株式	△3,760	△3,760
株主資本合計	38,194,530	38,873,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	271,562	236,862
繰延ヘッジ損益	△9,403	△8,341
為替換算調整勘定	1,508,062	668,016
その他の包括利益累計額合計	1,770,222	896,537
非支配株主持分	5,654	5,293
純資産合計	39,970,407	39,775,100
負債純資産合計	48,158,933	47,426,748

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	8,925,869	8,796,267
売上原価	5,554,304	4,874,277
売上総利益	3,371,565	3,921,989
販売費及び一般管理費	1,640,819	1,480,335
営業利益	1,730,745	2,441,654
営業外収益		
受取利息	4,760	4,557
受取配当金	9,478	8,538
受取手数料	4,932	4,114
為替差益	30,810	—
その他	8,925	5,446
営業外収益合計	58,906	22,656
営業外費用		
支払利息	2,226	—
為替差損	—	96,942
その他	655	1,826
営業外費用合計	2,882	98,769
経常利益	1,786,770	2,365,541
特別利益		
固定資産売却益	—	3
投資有価証券売却益	23,528	—
特別利益合計	23,528	3
特別損失		
固定資産除却損	1,691	1,756
特別損失合計	1,691	1,756
税金等調整前四半期純利益	1,808,606	2,363,788
法人税、住民税及び事業税	719,453	808,382
法人税等調整額	5,359	△10,970
法人税等合計	724,812	797,411
四半期純利益	1,083,793	1,566,377
非支配株主に帰属する四半期純利益又は純損失 (△)	△126	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,083,919	1,566,338

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	1,083,793	1,566,377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,034	△34,700
繰延ヘッジ損益	4,107	1,061
為替換算調整勘定	153,763	△840,045
その他の包括利益合計	153,837	△873,684
四半期包括利益	1,237,630	692,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,237,756	692,653
非支配株主に係る四半期包括利益	△126	38

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,808,606	2,363,788
減価償却費	402,669	325,931
のれん償却額	54,657	—
固定資産除却損	1,691	1,756
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△145	△65
賞与引当金の増減額(△は減少)	△144,485	△193,780
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△78,750	△141,800
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	29,084	19,880
受取利息及び受取配当金	△14,238	△13,095
支払利息	2,226	—
為替差損益(△は益)	△12,311	132,360
投資有価証券売却損益(△は益)	△23,528	—
固定資産売却損益(△は益)	—	△3
売上債権の増減額(△は増加)	224,232	△227,876
たな卸資産の増減額(△は増加)	200,631	148,679
仕入債務の増減額(△は減少)	104,751	△89,949
未払金の増減額(△は減少)	339,450	371,965
その他	△76,492	116,017
小計	2,818,049	2,813,809
利息及び配当金の受取額	15,060	13,567
利息の支払額	△1,885	—
法人税等の支払額	△1,349,251	△1,335,150
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,481,973	1,492,226
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△8,372,557
定期預金の払戻による収入	—	6,478,407
有価証券の取得による支出	△91,305	△81,187
有価証券の売却による収入	91,356	81,496
有形固定資産の取得による支出	△252,196	△62,199
有形固定資産の売却による収入	—	57
無形固定資産の取得による支出	△8,970	△1,260
投資有価証券の取得による支出	△1,087	△1,040
投資有価証券の売却による収入	47,062	—
長期貸付けによる支出	—	△500
長期貸付金の回収による収入	60	51
その他	△11,930	△347
投資活動によるキャッシュ・フロー	△227,012	△1,959,080
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△292,600	—
配当金の支払額	△310,066	△846,142
非支配株主への配当金の支払額	△400	△400
リース債務の返済による支出	△3,744	△1,662
財務活動によるキャッシュ・フロー	△606,811	△848,204
現金及び現金同等物に係る換算差額	46,159	△385,399
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	694,310	△1,700,458
現金及び現金同等物の期首残高	5,521,982	11,214,130
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,216,292	9,513,672

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料お よび機能性 化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,695,770	3,230,099	8,925,869	—	8,925,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,403	—	6,403	△6,403	—
計	5,702,173	3,230,099	8,932,272	△6,403	8,925,869
セグメント利益	631,965	1,331,531	1,963,496	△232,751	1,730,745

(注) 1. セグメント利益の調整額には、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用△237,131千円、その他4,380千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料お よび機能性 化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,368,250	3,428,016	8,796,267	—	8,796,267
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,368,250	3,428,016	8,796,267	—	8,796,267
セグメント利益	986,458	1,719,199	2,705,658	△264,003	2,441,654

(注) 1. セグメント利益の調整額には、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用△264,003千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。